

# 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構理事長賞

主催：一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構

## あべのハルカス

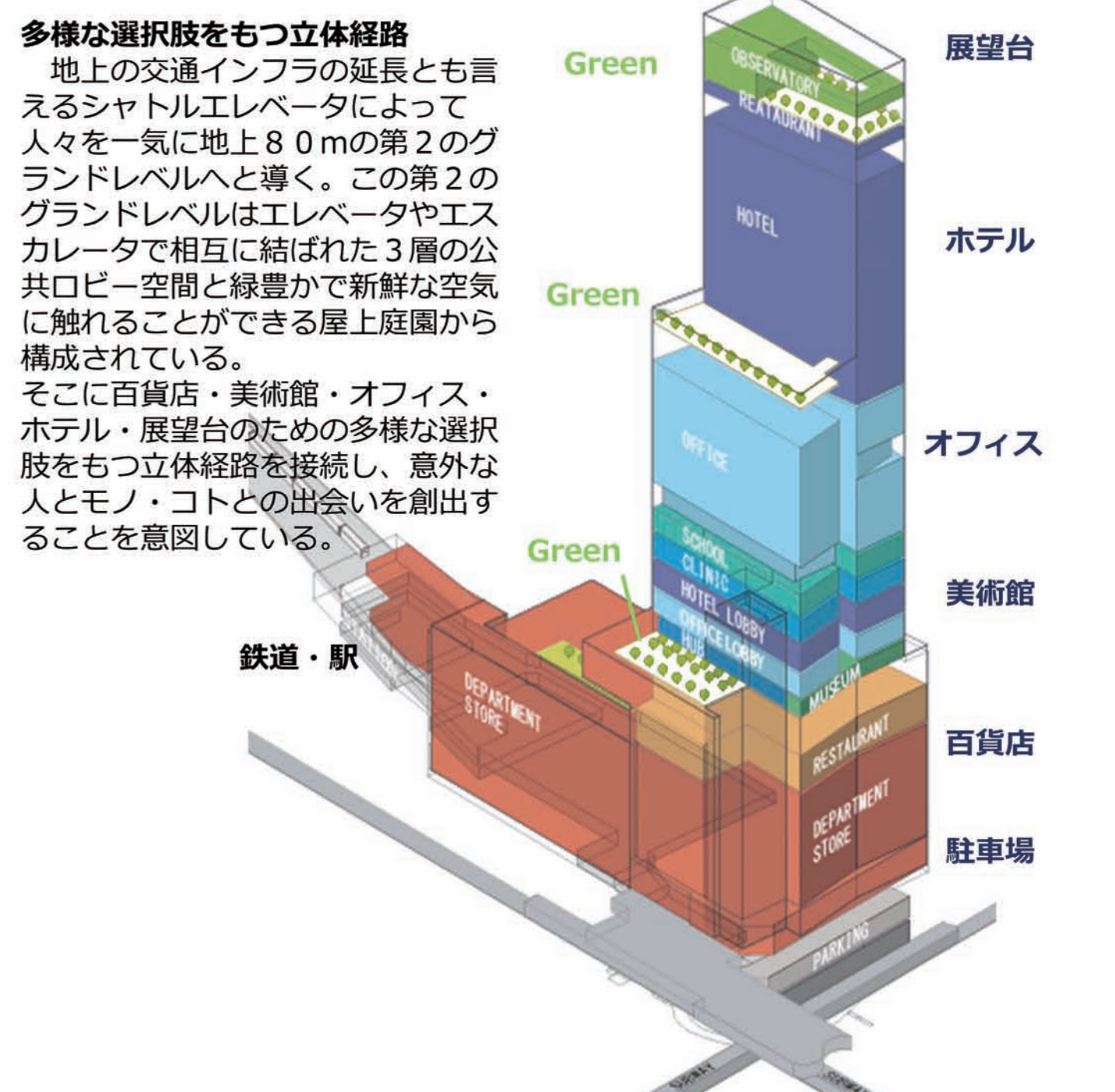
### ターミナル開発による沿線価値の向上

沿線の利便性の基盤となるターミナル開発により沿線の価値を高め、少子高齢化社会においても沿線の活力維持・発展させることが事業の出発点である。  
また、大阪の歴史・文化の発祥の地である阿倍野が梅田・難波と並ぶ新たな個性を持った第3極となることで、大阪の都心の多様性を生み出し、大阪全体の魅力を向上する。  
日本一の超高層集密都市の創出による事業基盤の拡大  
鉄道・不動産・流通・ホテル・レジャーという事業の複合化と連携によってシナジー効果を発揮し、新しい価値、独自の魅力を生み出すための知的・経済活動を一層活性化させる超高層集密都市を創出し、事業基盤の拡大を実現する。  
低炭素化と地域貢献  
環境に配慮した高い省CO<sub>2</sub>性能を実現するリーディング・プロジェクトとなり、従来想定されなかったレベルの地震や台風に対しても安全・安心を確保し、交通インフラ企業として地域社会に貢献する。



### 超高層集密都市 Supertall Compact City

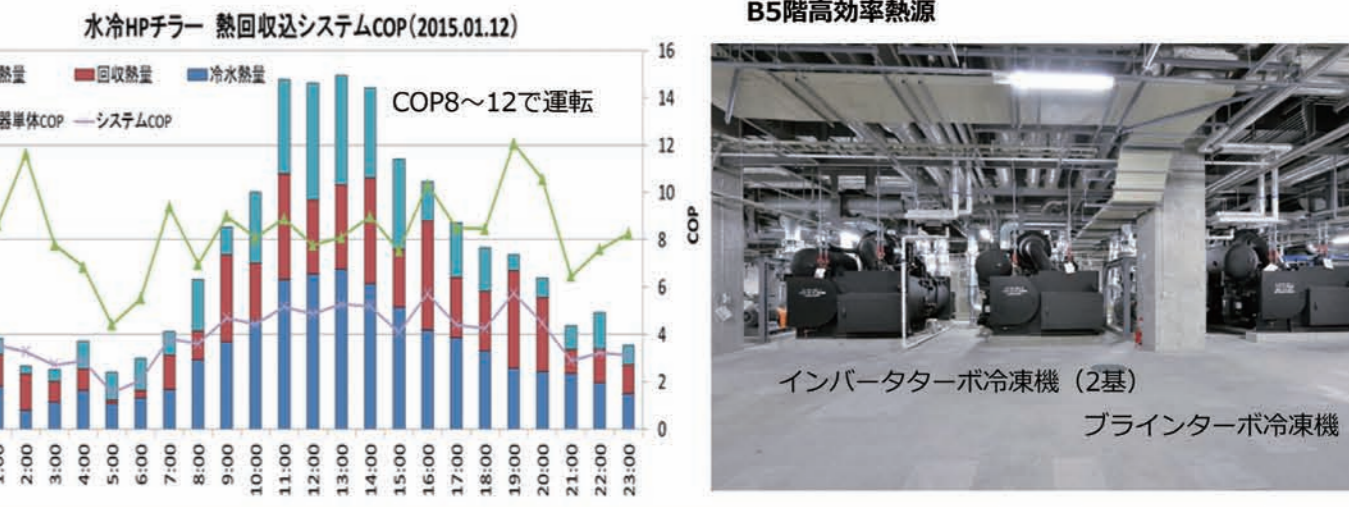
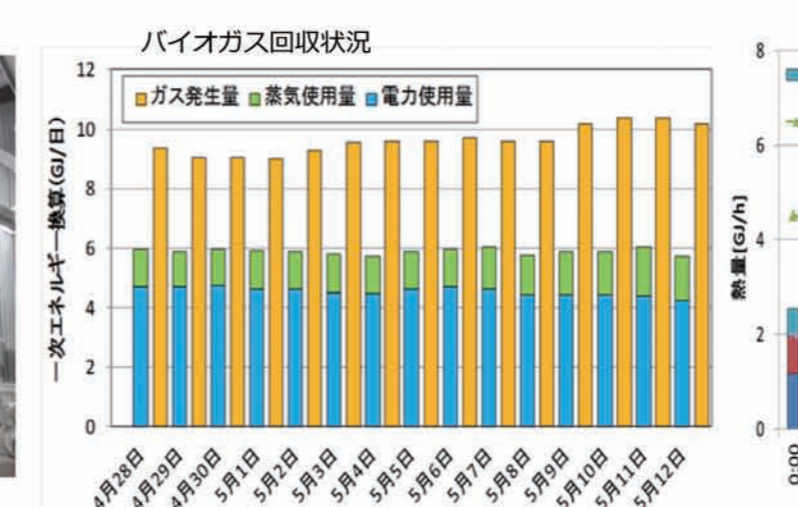
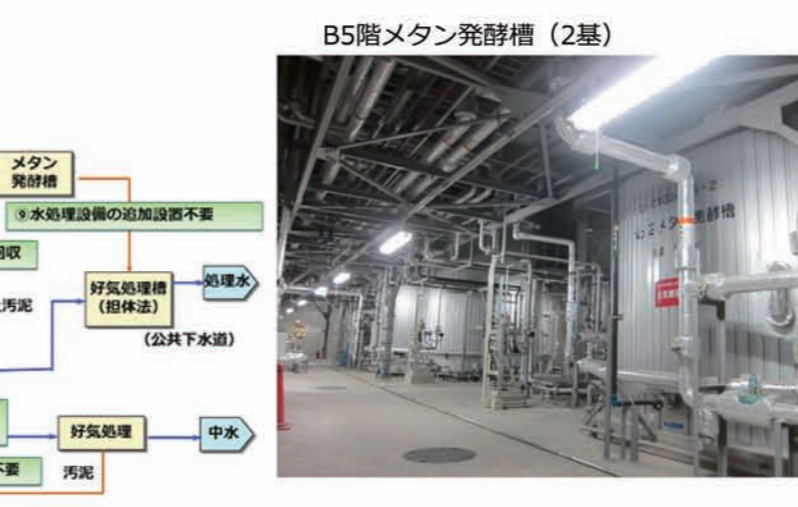
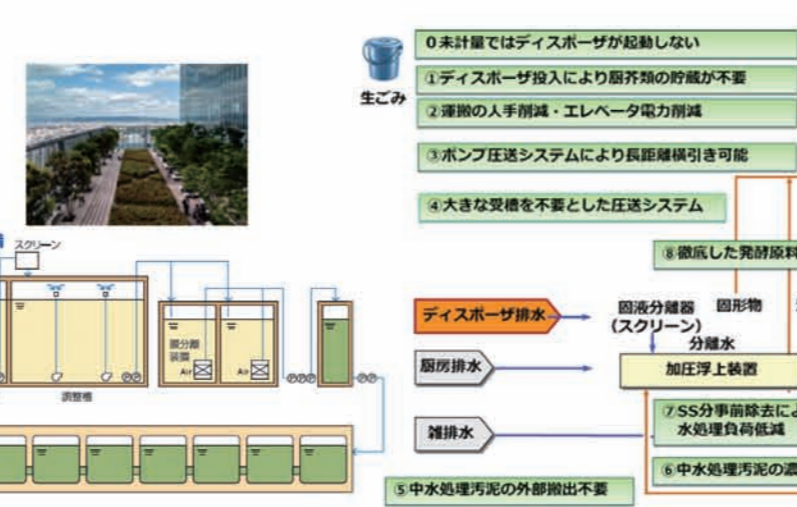
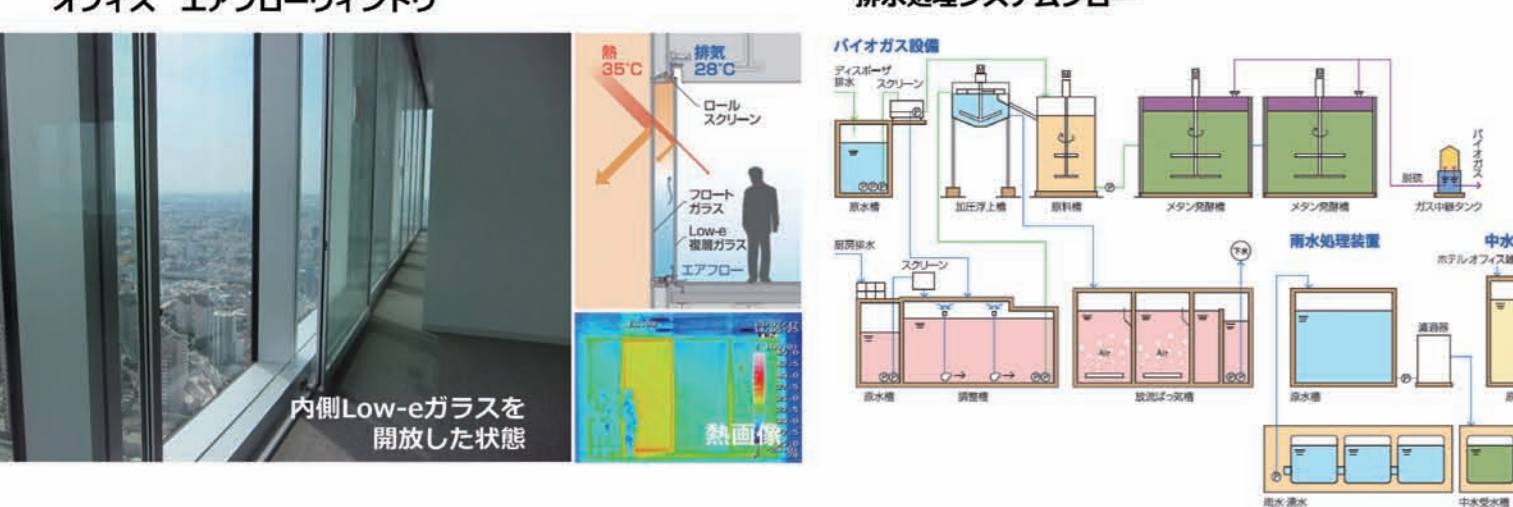
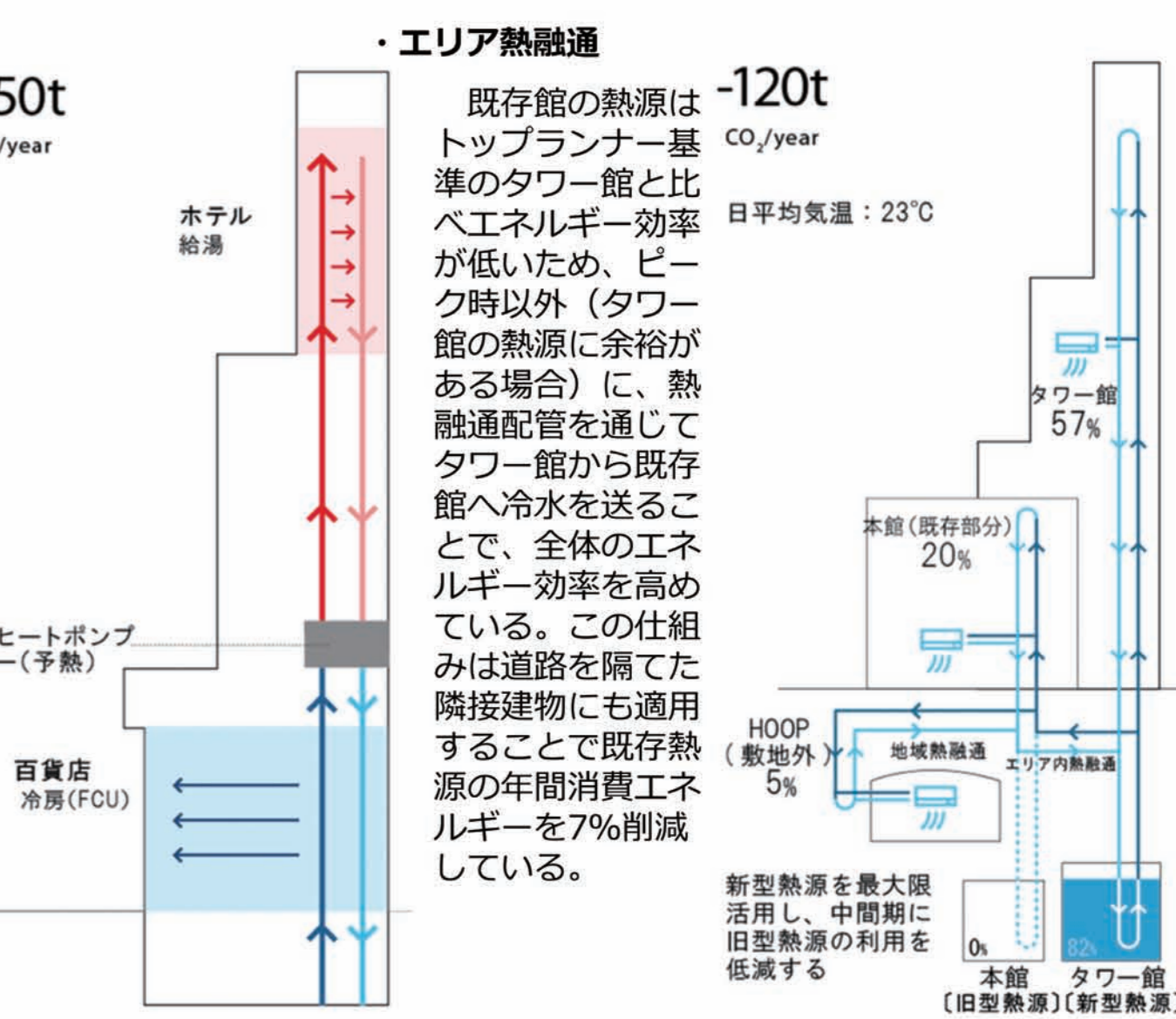
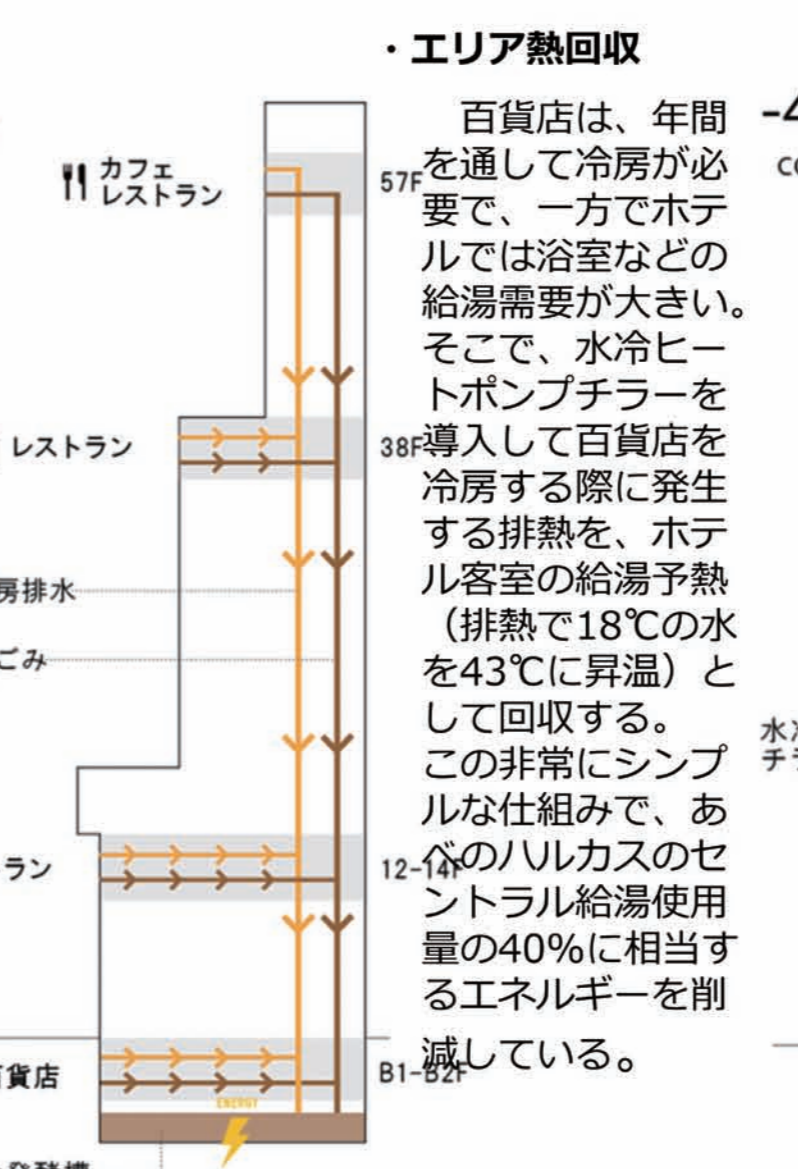
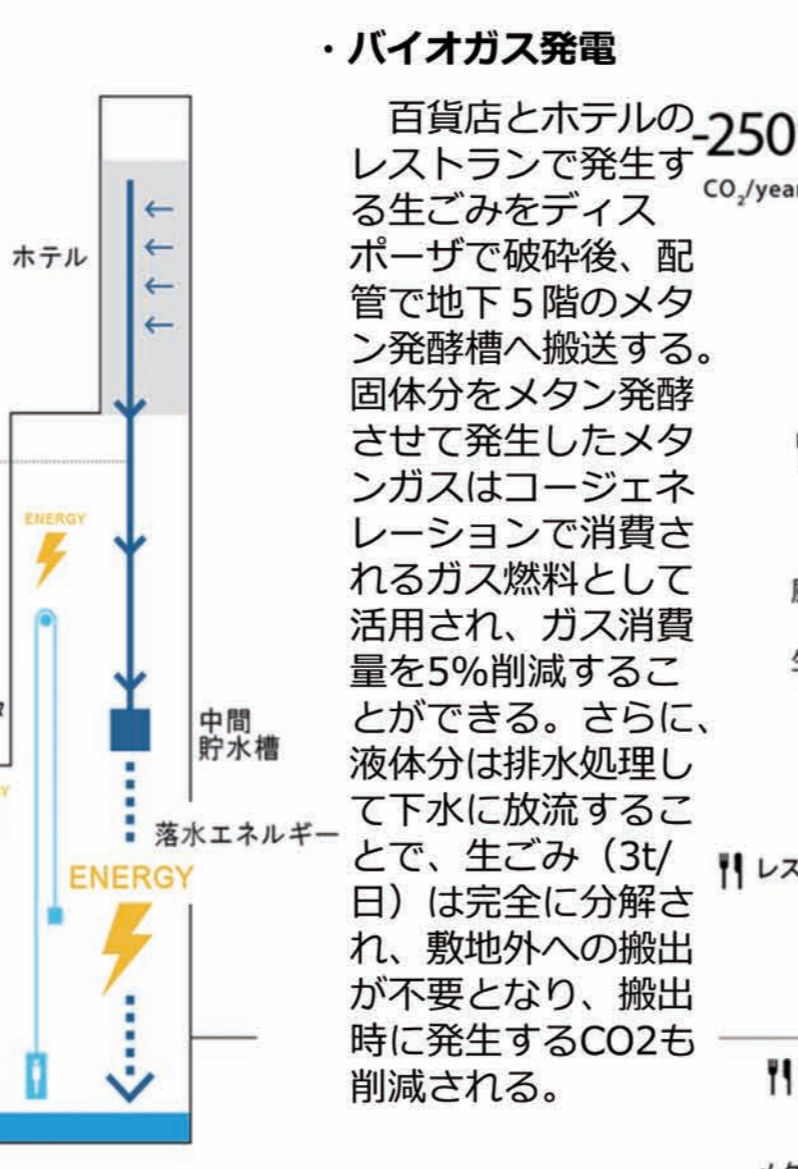
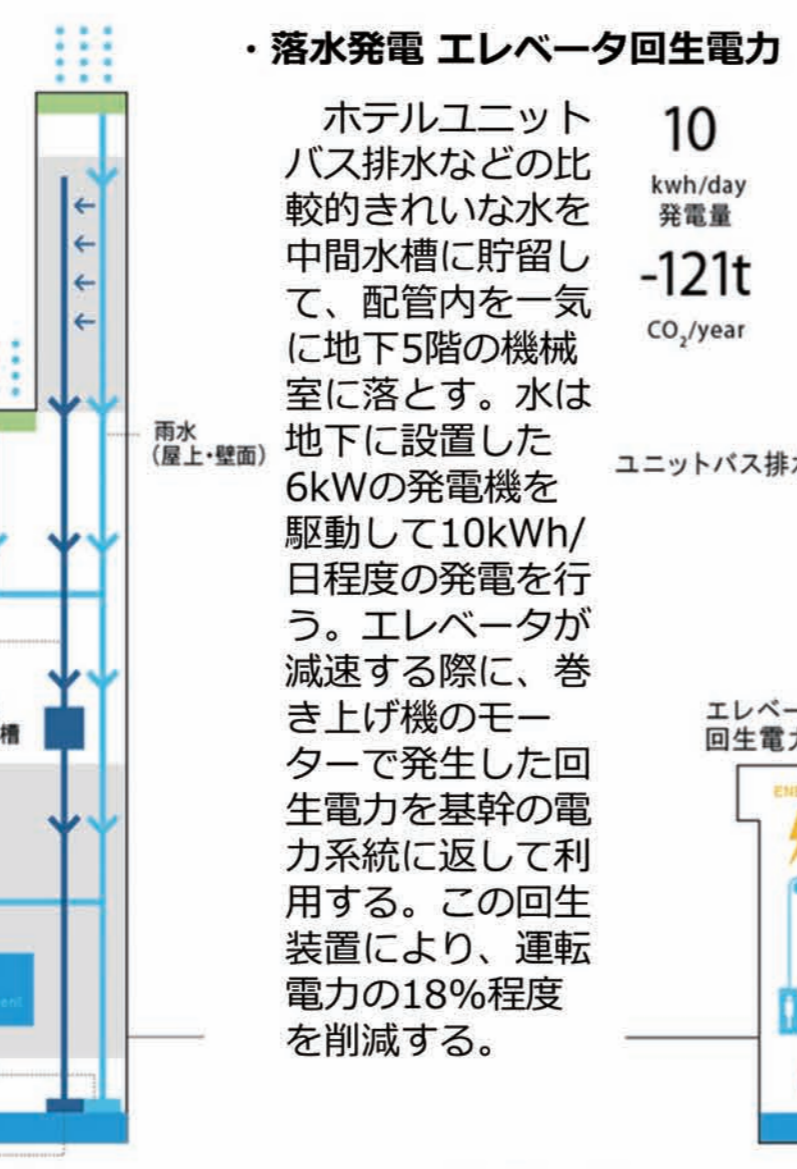
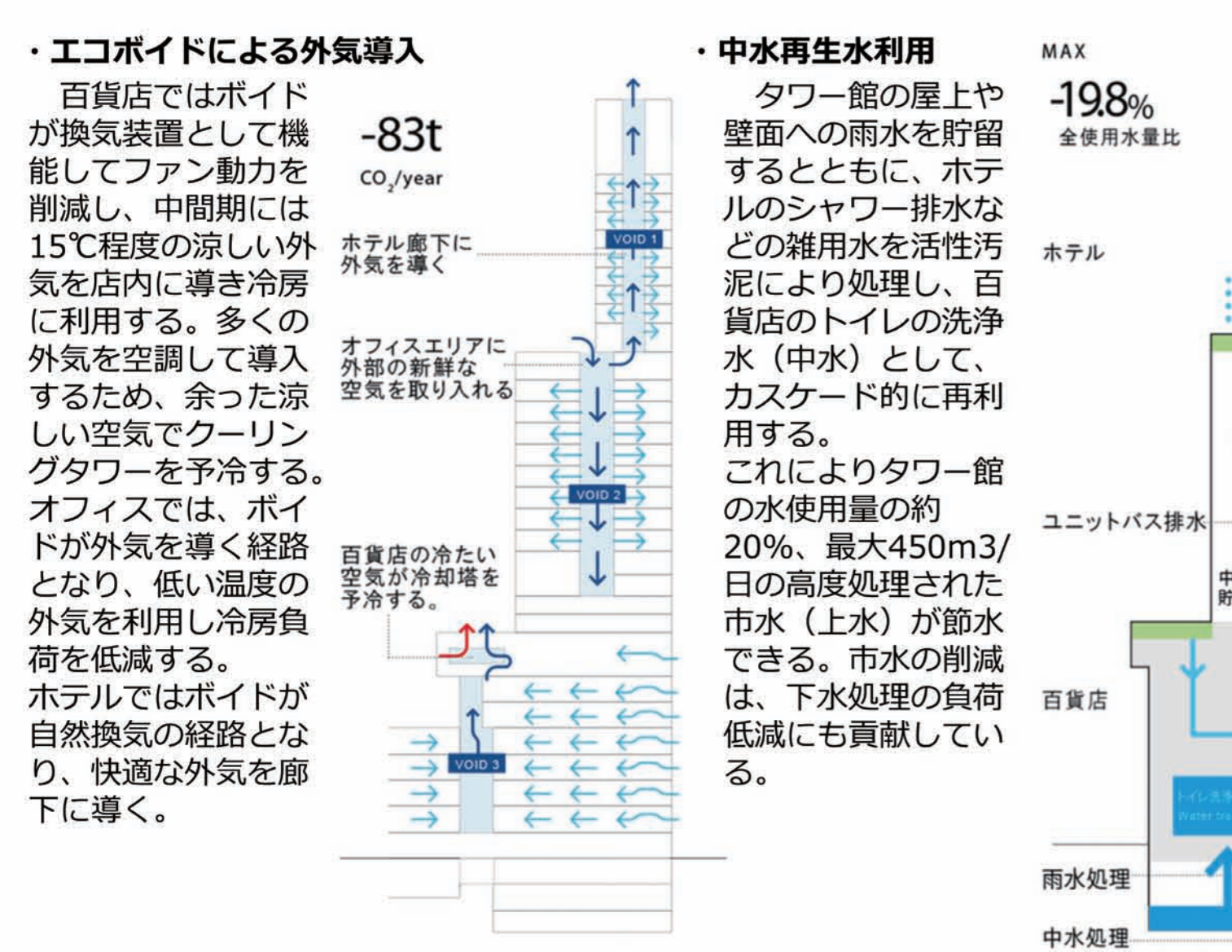
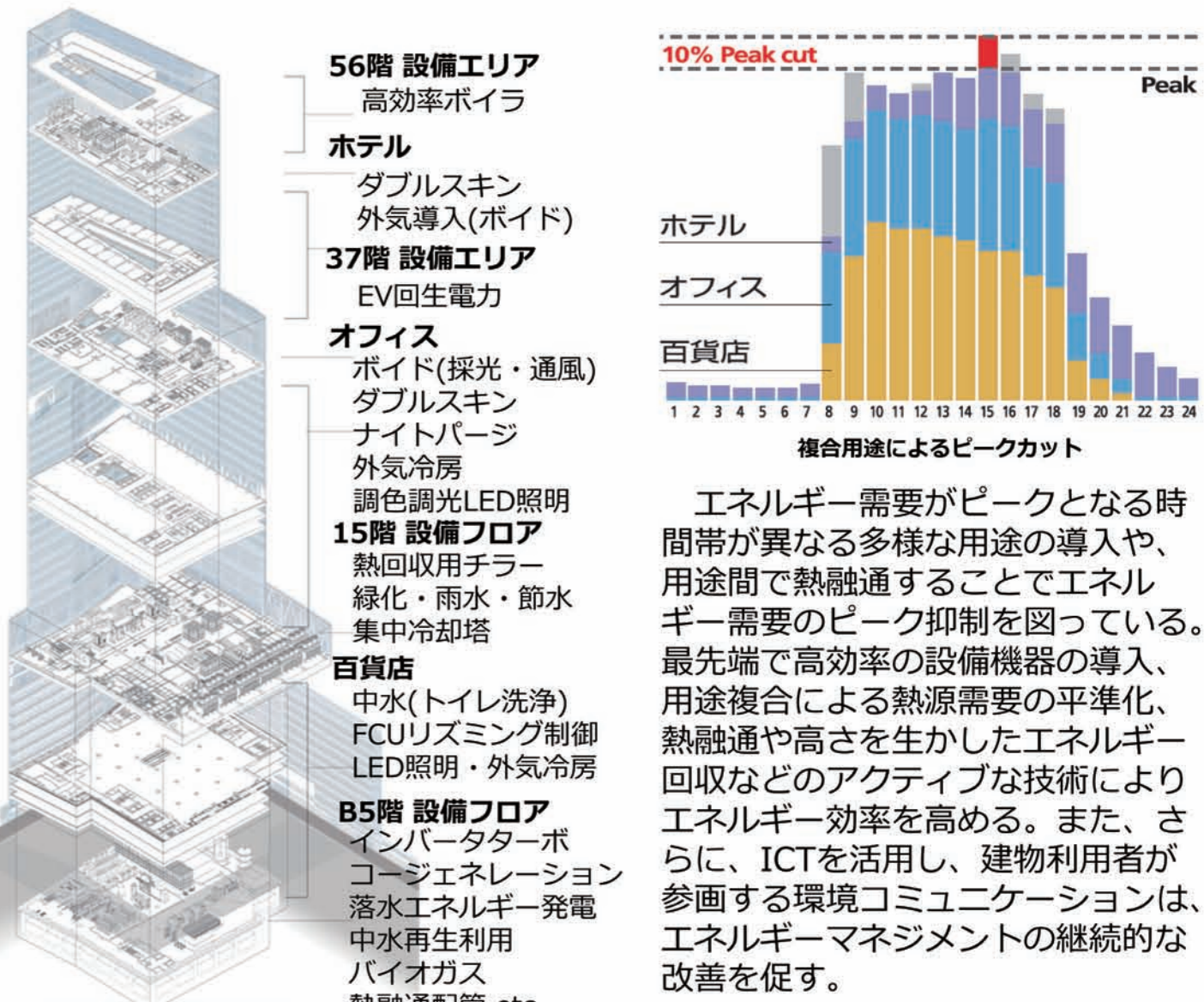
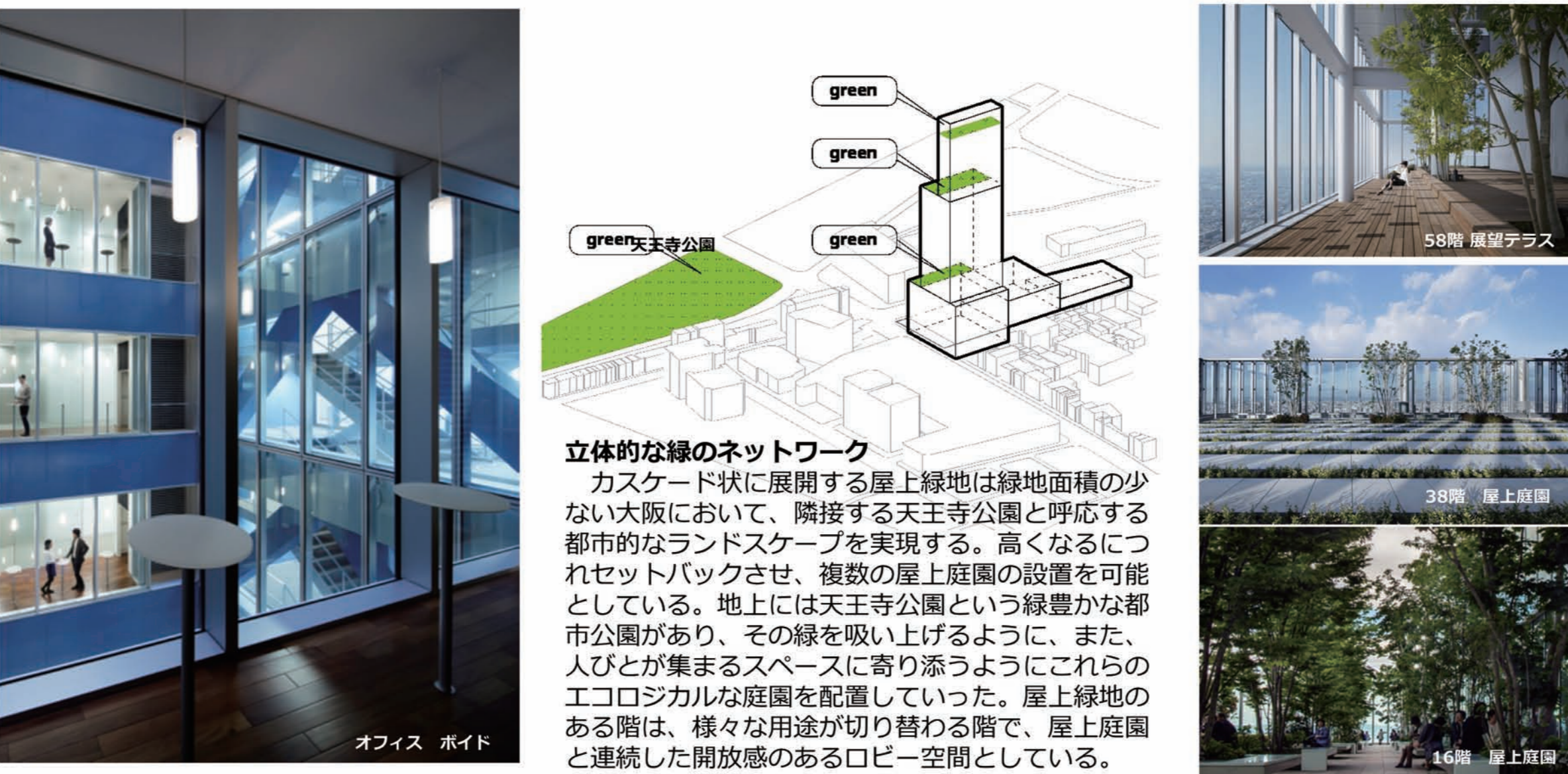
**超高層集密都市の実現**  
コアの周りに隙間なく居室を配置した従来の超高層ビルとは異なり、多様な用途がボイド状の空間を介して相互に繋がった「超高層集密都市」という新しい超高層ビルである。この超高層集密都市は、「多様な選択肢をもつ立体経路」と「ボイドのネットワーク」、「立体的な緑のネットワーク」から構成され、その相互作用により多様な高密度な出会いが知的活動へと転換され、都市的な活動を一層活性化させる。  
様々なパッシブ、アクティブな環境技術を導入し、環境コミュニケーションを継続することで、環境負荷を大きく低減する。



### 高さと複合用途を生かす Utilize Height and Multi Use

環境負荷の低減と快適性の両立を目指すあべのハルカスは、自然の恵みを受けながら、超高層集密都市の「複合用途」であることと「高さ」を生かした様々なアプローチにより大幅な環境負荷低減を実現した。

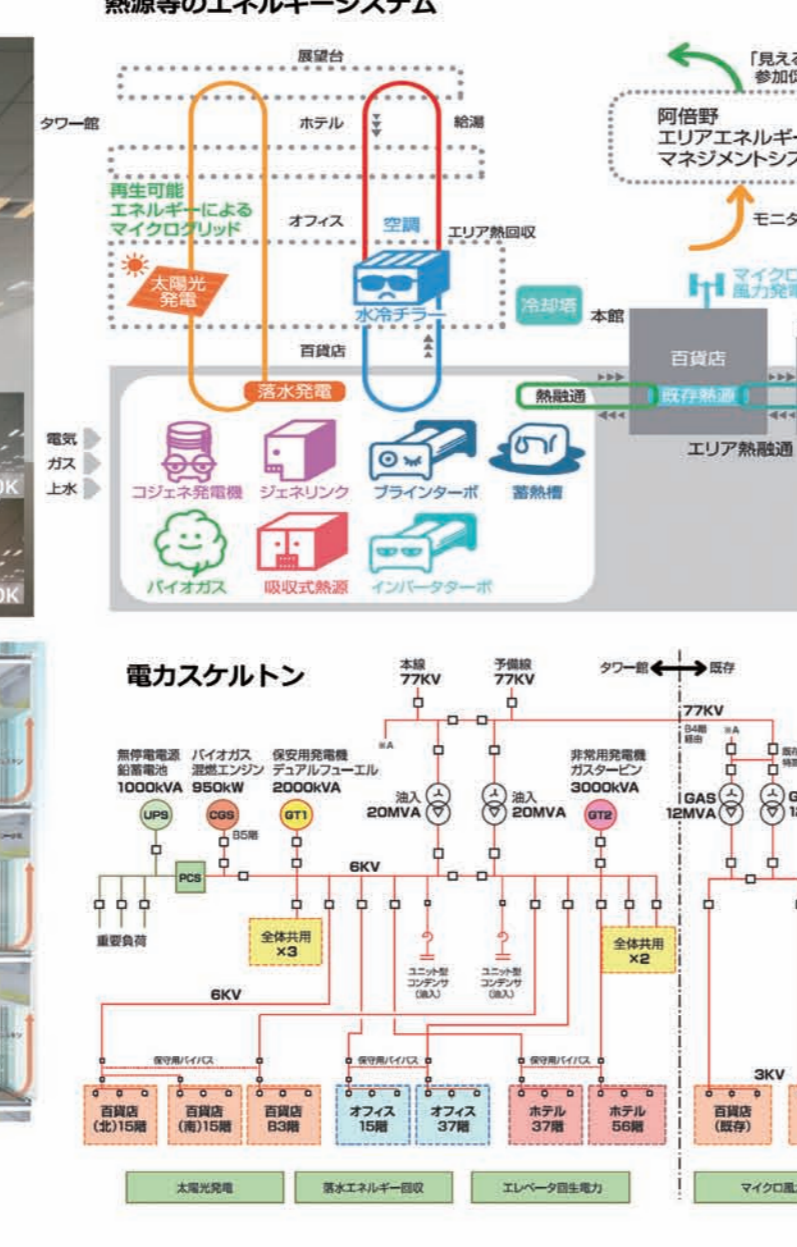
**創造性を刺激する「ボイドのネットワーク」**  
用途ごとに最適化された架構によるフロアが複数のクラスタ（房）を形成し、空中に積み上げられ、ネットワーク状のボイド（吹抜け）を介して3次元的に繋がる。  
クラスタ状のアクティビティが空中に積み上げられ都市のエネルギーが湧き出すダイナミズムを持ち、都市空間が建物内の様々なアクティビティと接続し、平面的に広がる都市ではあり得ない超高層集密都市の膨大な数の出会いが生み出す可能性を感じている。  
外気や自然光に触れることができるパッシブな建築計画により、ゆったりとした時間と「今ここに居る」というアドレス感が創造性を刺激する計画としている。



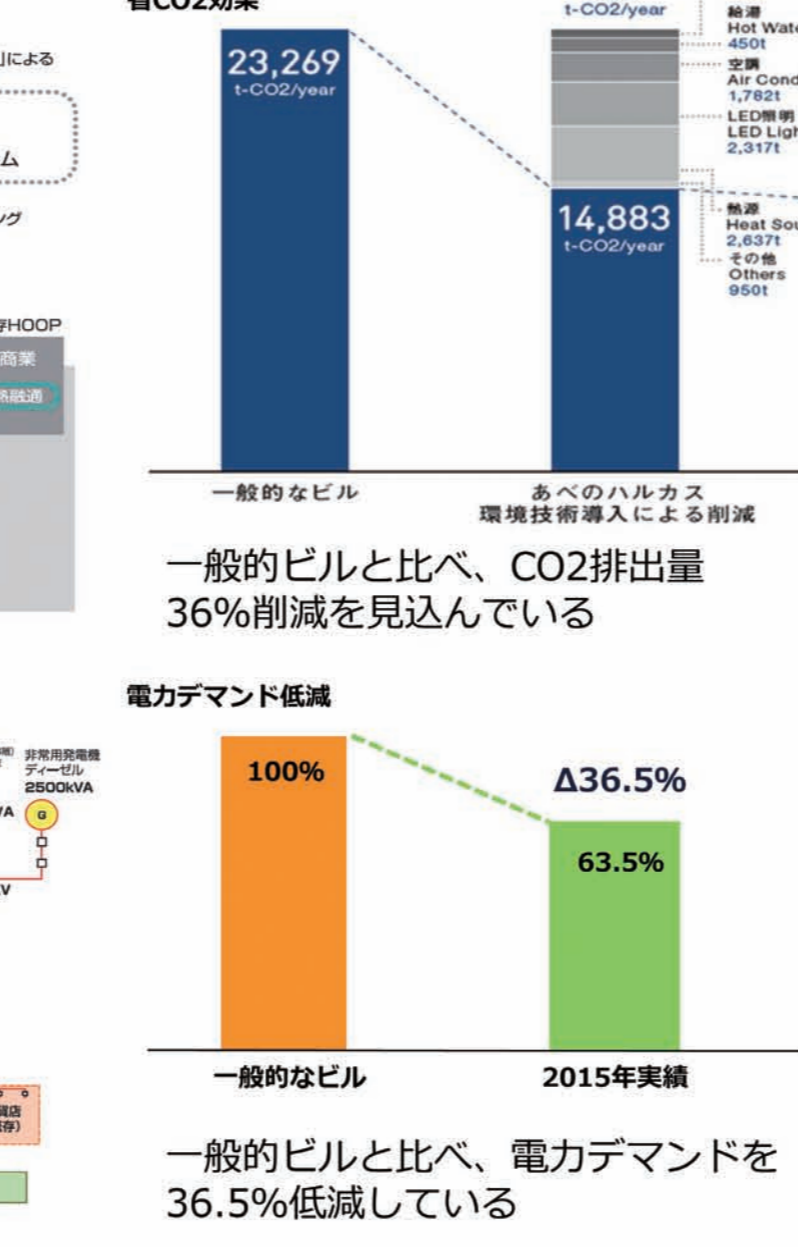
### 各所状況



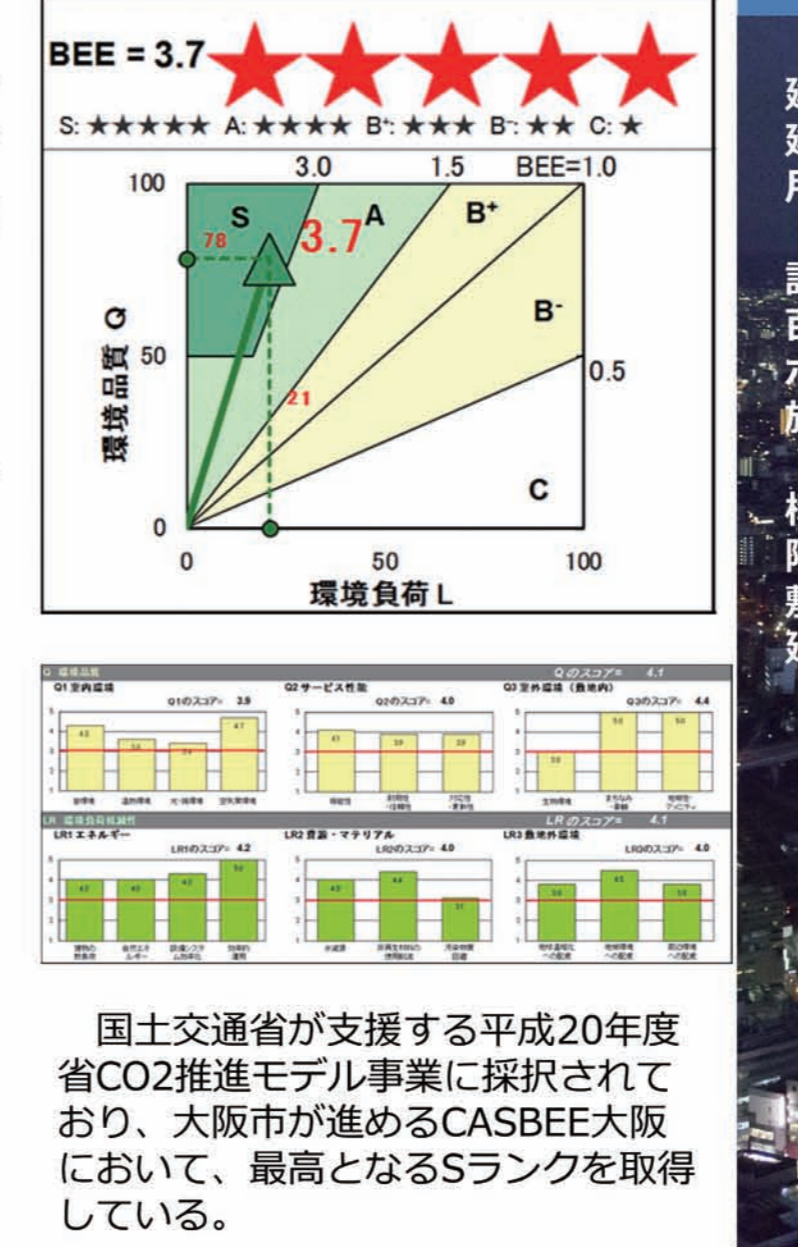
### オフィス照明・空調



### 環境関連性能



### CASBEE



### あべのハルカス

建築地：大阪府大阪市阿倍野区  
建物主：近鉄不動産  
用途：駅・百貨店・オフィス  
設計：竹中工務店  
百貨店内装：インフィックス、竹中工務店  
ホテル内装：日本設計、観光企画設計社  
施工：竹中工務店、奥村組、大林組  
構造：大日本土木、銭高組  
階数：B5 F60 P1  
敷地面積：28,738.06 m<sup>2</sup>  
延床面積：353,393.32 m<sup>2</sup>

国土交通省が支援する平成20年度省CO<sub>2</sub>推進モデル事業に採択されており、大阪市が進めるCASBEE大阪において、最高となるSランクを取得している。